

第3回 RDSセミナー 2011

観音 幸雄 氏

愛媛大学

2種競争系の定常解の分岐構造について

$$\begin{cases} u_t = \Delta u \\ u(x, 0) = u_0(x) \end{cases} \quad (x, t) \in \mathbb{R}^N \times (0, T),$$

日時： 2011年11月14日（月）17:40-18:40

場所： 明治大学生田キャンパス・第2校舎A館・A311 室

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/

<http://goe.mims.meiji.ac.jp/jpn/events/RDS/>

Abstract. 本報告では、古典的な2種競争系を一般化した反応拡散系を扱い、その球対称定常解の分岐構造に関して、これまでに得られている結果のいくつかを紹介したい。生物の住処を区間とした場合については、比較定理を用いて線形化作用素を調べることにより、古典的な2種競争系の分岐構造はある単独の反応拡散方程式のそれと類似していることが分かってきている。しかし、システムであることからいくつかの課題が生じ、分岐構造を完全に決定することができていない。報告の中で、それらの課題についてもふれたい。

参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学先端数理科学インスティテュート <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

明治大学グローバルCOEプログラム「現象数学の形成と発展」 <http://goe.mims.meiji.ac.jp/>

組織委員：二宮広和， 下條昌彦 (明治大学)

連絡先： ninomiya@math.meiji.ac.jp